

協議の進め方について（10年間の集大成）

1 役割分担の決定（※各自いずれかの役割を担うこととする。）

《グループ協議》

- ・ グループリーダー（1名）→協議の進行と協議結果の発表
- ・ 副リーダー（1～2名）→リーダーの補佐
- ・ 書記（1～3名）→結果を提出用紙に記載
- ・ タイムキーパー（1～2名）→時間配分の調整

2 現状・課題・目標について

《グループ協議》

(1) 現状・課題・目標の振り返り〔30分〕

- ①提案された現状・課題・目標について
『地域でできること』『協働で取り組むこと』を念頭において
現状・課題・目標を振り返る。

- ②まとめたものを様式2に記載する。

(2) 実現方策・実現プランの振り返り〔30分〕

- ①提案された実現方策・実現プランについて
『地域でできること』『協働で取り組むこと』を念頭において
実現方策・実現プランを振り返る。

- ②まとめたものを様式2に記載する。

【テーマⅠ】文化 ※裏面の事例を参考としてください。

<全体協議>

(3) 「自然環境，都市環境」の整理〔20分〕

- ①各グループの協議結果を発表（グループリーダー）する。※各5分以内
- ②質疑応答
- ③各グループから発表された内容について整理する。

..... **【次回会議で決定】**

<全体協議>

(1) 「自然環境，都市環境」について振り返る。

- ①「自然環境，都市環境」（案）について全体で振り返り，整理する。

テーマ「文化」 記載例

現 状	
(強み) ・ 地域の 文化財が豊富である。 ・ 地域の人たちで文化財が大切に保存・伝承されている。	
(弱み) ・ 地域の文化財を次世代に引き継ぐ後継者が不足している。 ・ 文化財に関するPRが不足している。 ・ 文化財を公開する場がない。	 

必要に応じ、
修正・追記

課 題	
文化財をまちづくりに活かす方策をつくる必要がある。	

目 標					
文化財を活用し、地域の魅力を発信する『まち』。					
					
【実現方策8】文化財を多くの人に知ってもらう	【実現方策9】文化財をまちづくりに活かす				
					
【実現プラン】 ①文化財の見学コースを設定し、案内マップを作成する。	【実現プラン】 ②文化財解説ボランティアによる勉強会（見学会）を開催する。	【実現プラン】 ③歴史資料の展示会を開催する。	【実現プラン】 ①景観形成重点地区（白沢宿）の観光コースを設定する。	【実現プラン】 ②地域ボランティアにより文化財案内所を設置・運営する。	【実現プラン】 ③文化財の見学会に併せて、フリーマーケットや特産物の販売を開催する。
○○○○○○	○○○○○○	○○○○○○	○○○○○○	○○○○○○	○○○○○○